

学校だよりNo.47

令和3年2月12日（金）

泉崎村立泉崎中学校

白 木 華

発行責任者 校長 桑原 透

泉崎中スローガン

- 1 明るく元気なあいさつ
- 2 健康・安全
- 3 「自他共栄」
- 4 「一歩改革」

目指す学校像

- 1 安全で安心して生活できる学校
- 2 生徒・教師が楽しめて「今日も来てよかったなあ」と思える学校
- 3 生徒が主体となって活動し、明るく活気のある学校
- 4 学校・保護者・地域が連携し、共に成長していく学校
- 5 保護者や地域から信頼される学校

新型コロナウイルス感染防止について

県内の新型コロナウイルスの感染状況が「ステージ

Ⅲ」相当に引き上げられ、自粛期間が14日までに延長されました。保護者の皆様におかれましても、この週末も特に下記の点につきましてご配慮をお願いいたします。

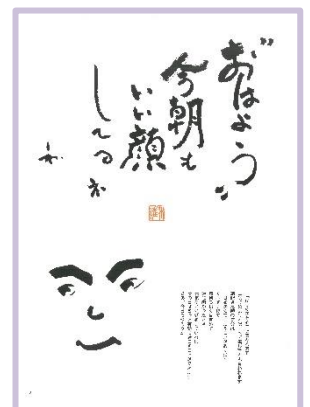
- 1 お子様の検温及び健康観察
- 2 同居家族についても毎日の健康状態を確認
※ 同居家族に発熱等の風邪症状が見られた場合には、家族の症状が無くなるまで登校させず自宅で過ごすようお願いいたします。この場合には、「出席停止」として取り扱います。
- 3 緊急事態宣言対象地域への不要不急の往来の自粛
- 4 学校外においても、児童生徒の会食やマスクを外しての会話、不要不急の外出の自粛
- 5 感染者や濃厚接触者について、差別・偏見や中傷をしない。

やまびこあいさつプロジェクトについて

1月末から行っている「やまびこあいさつプロジェクト」ですが、2月10日からは声出し練習の第2弾を行っています。

このプロジェクトを開始してから、あいさつがどんどん良くなってきています。「あいさつといえば泉崎中学校」「みんなが今日も来てよかったなあと思える泉崎中学校」を目指して、さらに盛り上げていきましょう。

生徒会長の緑川さんが、このプロジェクトにかける思いを述べてくれました。



生徒会長 緑川さん

やまびこあいさつプロジェクトがスタートして約一ヶ月が経ちました。みんなのあいさつが、大きくなっていると感じます。このプロジェクトを通して、もっと活気のある学校、私たちのめざす学校像に近づけるよう、私が先頭に立ち、これからも頑張ります。

無言清掃強化週間を実施して

環境整備委員会が進めていた「無言清掃強化週間」が終わりました。強化週間を実施したこと

により、生徒たちの清掃に取り組む姿勢が変わってきました。委員会では来月も実施しようと、張り切っています。委員長の高谷くんから素晴らしい話が聞けました。

環境整備委員長 高谷くん

私は無言清掃強化週間の見まわりを通して、自分のクラスの担当ではない清掃場所を見学することができました。そこで、自分が知らなかった「技」を使い、清掃を工夫して行っている場所を発見しました。このように自主的に清掃方法に改良を重ねていて、自分もまだまだなあと感じました。

「天からの封書を開けよ」

月曜日の朝会でこのような話をしました。

みなさんは自分は「何のため生まれてきたのか。」を考えたことがありますか。

今日は「天からの封書を開けよ」という言葉について紹介します。これは、明治から平成に生きた、教育学者の森信三（のぶぞう）という人の言葉です。「人はみな、それぞれが死ぬまでに果たすべき役割が記された封書を（手紙）もって生まれてくるのだ。だから人は誰でも自分の使命を果たすために、人生を精一杯生きなくてはならない。」という思いが込められています。

明治維新の立役者の坂本竜馬も同じような事を言っています。「人がこの世に生を得るは、ことをなすためにあり。」これは「人間は誰しも、この世で何かを成し遂げるために生まれてくるのだ。」という意味です。続けてこう言います。「何の志も無きところに、ぐずぐずして日を送るは、実に大馬鹿者なり。」と。

ではどうすれば封書を開けて、自分の果たすべき使命に気づくことができるのでしょうか。吉田松陰という人がいました。松陰は松下村塾を開いて、明治維新を成し遂げた人たちに大きな影響を与えた人ですが、彼は「目の前にことに全力を尽くす。それ以外に自分の使命に気づく方法はない。」とあ言っています。

つまり、天からの封書を開けて、自分の使命を理解するには、「今やるべきことを精一杯するしか方法はない。」というのです。

来週は1・2年生は期末テストがあります。部活動も明日から休みになり時間はたっぷりあります。今週はゲームやスマホなどは一切やめにして、目の前にあるやるべきことにしっかり取り組んでください。そういうことを繰り返していくことが「天からの封書を開ける。」ことにつながるでしょう。

スローガンの4つ目「一歩改革」です。昨日よりも一歩でも前に進んでください。